

加東市の環境について考えてみませんか？

なぜ今、環境基本計画が必要なのでしょうか？

加東市では、平成21年3月に、加東市環境基本条例を制定し、現在、環境基本計画の策定をすすめています。豊かな自然に囲まれている私たちのまちで、なぜ今、このような計画が必要なのかを考えてみましょう。



加東市の自然環境は

満々と水をたたえる東条湖。生命の営みを支え、歴史を育んできた加古川とその支流。四季折々の姿を見せる三草山や五峰山などの山々、田園風景が広がるふるさと。

多くのみなさまが、加東市は、水と緑豊かな環境に恵まれたまちというイメージをお持ちなのではないでしょうか。しかし、長くこのまちで暮らしてこられた方は、子どもの頃に見たり触れたりした自然を思い出してみてください。夏の夜にはたくさんのがが飛び交い、冬には川や池に張った氷に乗って遊ばれたのではないのでしょうか。川で魚捕りをすればたくさん種類の魚がいました。

現在はどうかでしょうか。生産性や利便性を高めるための開発などによって、虫や水中の生き物が激減した時期もありました。

加東市の自然環境そのものが、極端に悪くなったという実感はないかもしれませんが、環境の変化は、気づかない

ちに、私たちのまちにも確実に影響を及ぼしています。

地球温暖化の影響

身近な生き物に閉じてだけでなく、農作物の植え付け時期や桜の開花時期、紅葉の時期までも変わってきています。台風の時期や進路の変化、近年は、全国でゲリラ豪雨による被害も問題になっています。これらは、地球温暖化による気候の変化が原因といわれています。

温暖化は、人の経済活動などで排出される温室効果ガスが主な原因とされます。その中でも、60%を占めるのが二酸化炭素(CO₂)であり、日常生活や生産活動の中で多く排出されています。地球温暖化を食い止めるには、このCO₂を削減することが必要です。

例えば、水辺に生き物が戻ってくるように、身近な自然環境を改善することは、比較的とりかかりやすいですが、温暖化という地球規模の問題の改善は、容易ではありません。

よりよい環境を次世代に引き継ぐために

ふるさとの環境を、将来にわたって良好に保全し、次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの願いであり責務でもあります。

現在の環境を守り、よりよいものとするためには、市民のみなさまのご理解とご協力なくしてはできません。一人ひとりが環境のためにできることは小さくても、加東市全体で取り組むことができれば、大きな変化が生まれます。



環境基本条例は、市民、事業者、行政のすべてが、環境問題を自らの課題として認識し、相互の連携を深めながら、課題に取り組むことで、環境への負担を減らすとともに、持続的な発展が可能な社会をつくっていくために制定されました。

環境基本計画

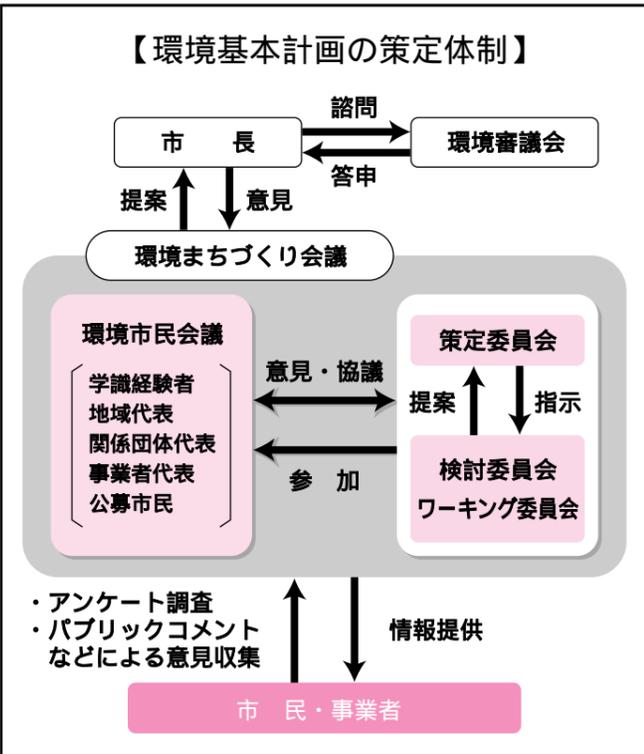
環境基本条例には、市民が一体となって環境にやさしい行動をするために、環境の保全と創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るた

めの計画を定めることとしており、現在、加東市環境基本計画の策定を進めています。

みなさまと一緒に作る計画です

計画は、分かりやすく、実効性のあるものを目指しています。このため、市民、事業者のみなさまの視点やご意見を反映させるべく、「環境市民会議」を組織し、活動を始めています。

メンバーは、各種団体や事業所の代表者のほか、公募に



環境市民会議のようす

このアンケート結果等を踏まえた市民会議からの提案を盛り込んで、市役所内に設置した検討委員会が計画の原案を作成し、市民会議と策定委員会が合同で素案を作ります。

家庭でできる温暖化対策

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすため、家庭でできることから始めてみましょう。



暖房の温度を1 低く、冷房の温度を1 高く設定する。

年間、約33kgのCO₂削減・約1,800円の節約

家電製品の主電源を切り、待機電力を50%削減

年間、約60kgのCO₂削減・約3,400円の節約

買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ。

年間、約58kgのCO₂削減

シャワーの使用を1日1分家族全員が減らす。(3人家族の場合)

年間、約69kgのCO₂削減・約7,100円の節約

出典：環境省「身近な地球温暖化対策」

などの情報をお寄せください。ユニークな活動は、「まちのEco活動通信」(市のホームページ「生活課からのお知らせ」に掲載しています)で紹介させていただきます。

みなで、この豊かな環境の恵みを受け、実感できる加東市にしていきたいです。

【ご意見・ご提案は「まちまじ」市民安全部生活課(滝野庁舎)

☎48・3528
Fax 48・5525
電子メール seikatsu@city.kato.lg.jp